

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)										
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28				
第1章 環境の保全と創造																					
第1節 環境にやさしくらしづくり																					
	第1項 自然環境の保全	環境保全活動推進事業	総務課 住民グループ 総務課 政策経営室	環境基本条例・計画に基づいた行動計画の推進に努め、その保全に関する事項について諮問するため、環境基本法の定めに基づき町環境審議会を推進します。初期活動として、安心して水の需給が図られるよう、水資源地域の外国資本等による買収等への対応を講じます。また、これから始まる河川整備についての住民懇話会の設立を進める。	環境審議会 2回(フォーラム講師招へいの審議会開催分含む) 水資源地域の保全 ・資源地域の保全地区指定 ・指定区域の管理 河川整備等住民懇話会	重要 重要	継続	→	→	→	→	→	→	→	→	201	111	111	111	142	
	第2項 環境保全活動の推進	自然ふれあい活動推進事業	総務課 住民グループ	頓別川を代表とする豊かな自然の姿を見つめ直すため、環境保全(教育)活動の一環として豊かな自然発見活動として、町民参加型の勉強会や、しらべ活動を実施する。	河川環境見学会 ・川のクリーン作戦 ・川と親しむ教育講座 ・サケの遡上定点調査 河川水質調査 ・定点調査実施、広報 貴重動植物等調査研究 ・調査研究 ・中頓別町希少種リスト作成 ・学習会 外来生物対策 ・学習会開催、広報活動 ・住民捕獲活動会の実施	重要 最重要 重要 重要		年1回 年1回 年2回 年2回 調査 作成 年1回 年1回	年2回 年2回 年2回 年2回 → → 年2回 年2回	→ → → → → → → →	→ → → → → → → →	→ → → → → → → →	→ → → → → → → →	→ → → → → → → →	→ → → → → → → →	125	155	135	635	335	
		地球温暖化防止対策関連事業	総務課 住民グループ 総務課 政策経営室	行政事務事業の実施にあたって、温暖化効果ガスの排出量を抑制し、地球温暖化対策の推進を図る。また、平成25年度中には町全体の行動計画となる「地域計画」の策定をめざす。	省エネ対策、エコ活動の推進 ・学習会 ・ECOコンテスト実施、広報PR(隔年) ・事業所等における省エネの取組促進 ・生活のECOを考えるイベント(パネル展、ビデオ上映会)開催	重要		年1回 年1回 3事業所 年1回	→ → 3事業所 →	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →	0	0	62	5	62	
		街灯LED化推進事業	産業建設課 建設グループ 総務課 住民グループ	省エネ活動の一環として、町内各所に設置されている街灯照明具をLED化を図る。 ・計画策定 ・照明器具の取替、改修(H25~27)	街灯のLED化 公共施設の電灯LED化	重要	計画	改修 調査	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	0	13,602	13,025	11,763	9,650	
		新エネルギー導入事業	総務課 政策経営室	平成20年度に策定した地域新エネルギー初期ビジョン、翌年度の重点ビジョンにより、エネルギー自給率ゼロからの脱却をめざすため、木質バイオマス、家畜糞尿バイオマスなどの導入・普及を推進する。	バイオマス等導入検討 ・住民学習会 ・導入検討会議の設置、開催 ・導入に向けた先進事例調査 起業化による雇用創出	最重要		年1回 設置 年1回	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	0	0	132	132	132	
	第3項 環境衛生の推進	一般廃棄物処理事業	総務課 住民グループ	分別収集の徹底と再資源化、再利用を図るため家庭から排出される廃棄物の減量化を進める。また、埋立処理場の使用期限延命と不法投棄の防止に努めるための、ごみ収集の委託、容器包装リサイクルの処理委託、南宗谷衛生施設組合への負担金	再生資源の活用推進事業 ・マイボトル、マイコップ運動 ・(仮称)リユースセンターの確保 分別廃棄の効果促進 ・住民学習会、広報活動	重要 重要	広報 検証・検討 広報	年1回 年1回	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →	100,849	96,638	95,637	95,637	95,637	
		環境衛生事業	総務課 住民グループ	狂犬病予防接種事業の実施、有害駆除及び町内の生活環境の整備	狂犬病予防 有害駆除の実施 エキノコックス症媒介動物献体提供			随時 随時 随時	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	115	160	160	160	160	
		公衆浴場運営助成事業	総務課 住民グループ	住民の保健衛生上不可欠で、将来とも必要とされる公衆浴場の廃業を防止し、必要な公衆浴場の確保を図るため、「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」に基づき経営が困難な公衆浴場業者に必要な助成を行う。	運営費助成			補助	→	→	→	→	→	→	→	→		400	400	400	400
		墓地火葬場維持管理事業	総務課 住民グループ	現在5箇所墓地(中頓別・小頓別・上頓別・敏音知・松音知)を設置している。また、火葬場は昭和52年に各地区の火葬場を統合し中頓別墓地に建設した。これらの各施設の維持管理を目的としている。 H24:火葬炉(制御板)修理 1,138千円	墓地管理委託 火葬場管理委託 無縁故者供養		委託 委託	5力所 年1回	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	1,468	1,484	1,484	1,484	1,484	

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)										
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28				
第2章 産業振興・地域経済の活性化と社会資本の整備																					
第1節 農林業を基本に据えた活力ある産業の創造																					
第3項 商工業の振興	商工業の振興	商工業振興対策推進事業	産業建設課 産業グループ	商工業の振興と地域経済基盤の安定を図ることを目的とする。 特に商店街における空き店舗の有効活用や第三者への事業継承などに向けて必要な支援策等の検討を行う。	商工業振興業務 空き店舗利活用検討 プレミアム型商品券発行事業補助金		継続						46	41	41	41	41				
			中頓別町商工会補助事業	産業建設課 産業グループ	中頓別町商工会が行う中小企業に対する指導事業及び商工業者の振興と安定を図るため、運営費の一部を補助する。	補助金支出 商工会事業の審査、指導		継続							5,500	5,500	5,500	5,500	5,500		
			中頓別町中小企業振興資金融資事業	産業建設課 産業グループ	町内中小企業の育成振興並びに経営の合理化を促進し、経済的地位の向上と、事業運営の基礎となる金融の円滑化を図る。	運転資金及び設備資金融資(随時) 利子補給		継続								20,020	20,040	20,040	20,040	20,040	
	第4項 観光の振興	観光の振興	ピンネシリふれあい公園管理事業	産業建設課 産業グループ	町の観光の拠点である、ピンネシリ温泉、道の駅周辺にあり、快適な公園環境を保持するため、天北厚生園に委託して必要な維持管理を行っている。	広場の環境、美化 施設の維持、管理		継続							213	213	213	213	213		
				産業建設課 産業グループ	中頓別町を通過するライダーを無料で宿泊させることにより、ライダーを活用した中頓別町のPRや各種イベントへの参加、町民とのふれあいの場を持つことにより地域の活性化を目指す。	補助金支出 実行委員会の審査、指導		継続								80	60	60	60	60	
				産業建設課 産業グループ	町民総参加による観光イベントを開催し、地域住民に楽しんでもらい、地域の人たちとの交流を図る。	イベント開催経費補助		継続									872	872	872	872	872
				産業建設課 産業グループ	観光協会の運営補助と支援活動を行い、町内外への観光情報の発信、町の観光振興を図る。	補助金支出 協会事業の審査、指導		継続									5,090	5,090	5,090	5,090	5,090
				産業建設課 産業グループ	北海道指定天然記念物である鍾乳洞と、その周辺の豊かな自然環境を生かし、地域住民の憩いの場や都市住民との交流の場とする。	指定管理委託業務 園内のガイド業務 施設の維持、管理 施設周辺の環境保全及び環境整備 広報誌、旬報、チラシ等による施設のPR	重要	選定 継続									3,538	3,505	3,505	3,505	3,505
				産業建設課 産業グループ	魅力ある観光施設として、交流プラザ、ふるさと体験館、オートキャンプ場、コテージ、砂金掘体験場の施設の維持管理、運営を図り、町内外から多くの観光客に利用を促進する。	指定管理委託業務 施設及び設備の清掃及び環境保全に関する業務 施設設備の修繕に関する業務 外溝、トイレ及び樹木の管理に関する業務 施設の警備及び防火管理、備品類の管理に関する業務 屋根塗装工事		選定 継続									8,499	8,484	8,484	8,484	8,484
				産業建設課 産業グループ	観光振興に関する総合的な業務推進(PR活動含む)を行う。	総合業務		継続									3,016	3,046	3,046	3,046	3,046
				産業建設課 産業グループ	社会資本整備総合交付金事業を充てて交付対象事業を実施しようとする場合は、基幹事業の分野ごとに社会資本整備計画を作成し、国土交通大臣に提出し承認を得なければならない。 道路整備事業に関連して、効果促進事業に分類する観光看板整備などを実施する。	H24:観光案内板1基、誘導サイン板1基 H25:観光案内板1基		ハスターナル前 砂金掘 体験場									1,470	900			
				産業建設課 産業グループ	南宗谷観光のPR、観光振興事業の推進を図るため、南宗谷4町村で協議会を構成し、緊密な情報交換を通して南宗谷地域の観光振興の推進と観光資源の整備促進を図る。	南宗谷協議会負担金		継続									10	10	10	10	10
産業建設課 産業グループ	町内を一望できる大畑山展望台公園の快適な公園環境を保持するため中頓別町観光協会に委託して必要な維持管理を行っている。	公園の環境、美化 施設の維持、管理		継続										168	168	168	168	168			

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)														
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28								
			そうや自然学校事業	産業建設課 産業グループ	そうや自然学校を拠点とした「生涯学習の推進」「環境教育」「体験型観光の拡充」「地域の活性化」及び地域内外の都市間交流の拡充を図る。また、森林療法事業で取り組んでいた「中頓別歩き隊」活動を引き継ぎ実施する。 こどもの体験活動 体験観光 人材ネットワークづくり 環境保全 情報発信	自然体験活動の強化 ・メニューや料金の見直し 自然や人など「あるもの」を活かしたメニュー開発 ・ガイドマップ等情報誌の作成 関連団体と連携した活動展開 運営体制の強化 ・スタッフ研修、ボランティア連携会議の開催	最重要等 最重要		検証・検討						7,649	8,980	8,980	8,980	8,980						
			ピンネシリ温泉運営事業	産業建設課 産業グループ	町民福祉の向上及び観光客の利便性を図るため、施設の運営管理を行う。	指定管理委託業務 施設本体の維持管理業務 導水管及び施設の維持管理業務 導水管施設の改修		選定 継続							12,039	11,963	11,963	11,963	11,963						
			中頓別鍾乳洞ジオツアーリズム推進事業	産業建設課 産業グループ	「中頓別鍾乳洞ジオパーク構想」を基本としたジオツアーリズムの展開を図る。	推進協議会運営事業 ガイド養成事業 ジオツアー実践事業(そうや自然学校) パンフレット作成 基本計画・運営計画 ジオパーク申請事業 サイト・エリア板	重要	継続 継続							9,000	5,000	5,000	9,000	12,000						
			中頓別ブランド推進事業	産業建設課 産業グループ	中頓別町における特産品開発については、これまでも様々な取り組みが行われてきたところであるが、小学生による地元の食材を活用した特産品の商品化が実現しているほか、町内の各種団体においても特産品開発の取り組みが進められてきているところであり、連携を図りながら必要な支援やPR活動を進め、地域ブランドの確立を目指す。	各種特産品販売事業への参加 広報活動		継続							0	0	0	0	0						
		第5項 起業家支援と雇用創出	雇用対策関係業務	産業建設課 産業グループ	振動障害軽快者の職業復帰の促進を図ると共に、地域における雇用問題に関して協議を行うとともに産業界と関係行政機関との連携を強化し、雇用失業情勢の迅速な把握及び各種雇用対策の円滑な推進を図る。	稚内雇用対策協議会 振動障害者に関する会議		継続							12	16	16	16	16						
			緊急雇用創出対策推進事業	産業建設課 産業グループ	現下の厳しい雇用情勢にかんがみ、非正規労働者、中高年齢者、見就職卒業者等に対する一層の雇用促進に対処すべく、地域の状況に応じ北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金を財源に必要な経費を補助する。	町民活動支援対策 有害鳥獣対策 集落活動支援事業 地産地消とコミュニティレストラン事業	実施 実施								1,633 2,814	3,106 2,464	3,448								
第2節 快適に暮らすことができる生活環境の整備																									
		第2項 地域交通体系の整備	地方バス路線維持対策事業	総務課 政策 経営室	生活交通路線の維持するために必要な補助を行うことにより地域の足を確保するため、連絡調整協議会構成市町村により、運行するバス会社への補助金を支出する。 ・地域間幹線系統路線維持補助 ・地域間幹線系統路線維持補助(買支え) ・市町村単独路線維持費補助 ・バス運行に際し必要となる資機材整備補助	国庫・道費申請書の内容確認 バスへ路線維持補助金(11月) 路線運航時係る資材更新	重要	継続							14,818	14,818	14,818	14,818	14,818						
			天北線バス定期運賃補助事業	総務課 政策 経営室	平成元年にJR天北線が廃止後、代替バスの運行が開始される際に、通学生の通学費用の軽減を図るため、定期運賃購入費の一部を補助する。	定額の3割10カ月分 約45名 学校経由で、3月下旬～入学式までに 許可証発行 バスより概算払申請、精算申請	重要	継続							2,138	1,800	1,800	1,800	1,800						
			新たな生活交通路線検討事業	総務課 政策 経営室	天北線代替輸送開始後、四半世紀を超える年月が経過している。この間、バス事業者による経費削減や、ダイヤ改正による財源の見直しを図ってきた。今後の生活交通について抜本的な見直しを検討するため、沿線の住民ニーズの把握や、利用実態を調査し、真の地域幹線のあり方を検討していく。	検討協議会 設置、地域調査 天北地域デマンド交通導入調査検討 事業負担金	設置	調査	調査	改正 実施	運用 実施				4,000	2,000	1,474	6,000							
		第3項 地域情報化の推進	民放ラジオ難聴等解消事業	総務課 政策 経営室	電波状況が悪く、ラジオ等の視聴困難エリアの解消を図るため、民放ラジオ放送局などに対しての要望活動を実施する。	開局に向けての要望活動		継続							0	0	0	0	0						

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標						概算事業費(見込)							
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28		
			高速ネットワーク通信環境整備推進事業	総務課 政策経営室	高速化通信への対応するため、全町を網羅した光ケーブルの整備による高速ネットワーク環境を実現するため、地域住民(エリアによってはISDN→ADSLを検討)と十分な協議を行い、かつ放送事業者とも連携して整備推進をする。	光通信の整備 ・誘致をする会設立の支援 ・申込者の確保	重要	検討	改修						0	22	0	0	0
			地上デジタル放送施設整備事業	総務課 政策経営室	地上デジタル放送開始に伴い新たに難視となったエリアの解消を図るため、地域住民と十分な協議を行い、かつ放送事業者とも連携して整備推進を行う。	難視エリアの解消 ・共聴アンテナ整備、改修 ・テレビ組合設立の支援 テレビ北海道増局改修	重要	検討	改修 設立	運営 改修					0	21,826	540		
		第6項 町並み・景観づくり	旭台公園維持管理事業	産業建設課 建設グループ	旭台地区の公園について、快適な公園環境を保持するため旭台自治会に委託して必要な維持管理を行っている。	公園の環境、美化施設の維持、管理		継続							215	215	215	215	215
			屋外広告物関連業務	総務課 住民グループ	屋外広告物法並びに北海道屋外広告物条例及び同条例施行規則により、広告物の表示許可と違法な表示物に対して撤去の指導を行い、煩雑化しない広告の管理を行う。	新規許可手続き 継続許可手続き 変更許可手続き		継続							0	0	0	0	0
			花とみどりのまちづくり推進事業	総務課 住民グループ	快適で潤いのある生活環境を創造するため、花とみどりのまちづくりを進め、地域組織や個人の自主的な活動を促進し、人間的なふれあいと連帯感に支えられた地域社会の創造を目指すため、町内公共施設に花樽設置、旧開発跡地に花壇設置を行う。 6月中旬設置、10月中旬撤去	花樽60、花壇柙7		継続							373	376	376	376	376
第3章 保健医療福祉の充実と安全安心な暮らしの保障																			
第1節 誰もが健康で安心して暮らすことができる保健・医療・福祉の充実																			
		第2項 高齢者福祉の充実	在宅老人デイサービスセンター等運営事業	保健福祉課	中頓別町内における在宅の要介護老人等に対し、通所の方法により各種サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る。	在宅老人デイサービスセンター等運営浴室改修(特殊入浴装置取替)工事 在宅老人デイサービスセンター復旧工事		委託		実施					7,260	8,149	19,593	12,515	12,515
			高齢者等余暇活動支援事業	保健福祉課	通所介護サービスを利用し、特別な理由でサービス提供が受けられない場合において、その代替となる支援を提供することを目的とする。	高齢者等余暇活動支援事業委託				委託								3,340	3,340
			高齢者等入浴支援事業	保健福祉課	通所介護サービスを利用し、入浴サービスの提供を受けていた者が、特別な理由でサービス提供が受けられない場合において、その代替となる支援を提供することを目的とする。	高齢者等入浴支援事業委託				委託								250	250
第2節 安全な町民生活を支える体制、対策の確立																			
		第2項 生活安全と消費生活の保護	消費生活行政活性化事業	総務課 住民グループ	町民が安心して生活するため、消費生活各般の効率化と啓発活動を推進する(国、道からの交付金を財源に実施)ため、啓発行事の開催、相談員の配置を推進する。 また、宗谷管内として広域的な事業として消費者の安全・安心した生活を確保するため、稚内市消費者センターを核とした相談窓口体制を強化するため、稚内市への負担金を支出する。	各種啓発行事の開催 隔年1回 チラシ配付 年2回 庁内連携体制の強化 稚内消費者センター移動相談会 年1回		継続							831	138	138	138	138
			生活安全啓発事業	総務課 住民グループ	町内における交通事故死ゼロの記録を永久的に更新するため、町交通安全基本条例を基本理念に交通事故根絶をめざし、交通安全意識と啓蒙を図り、町民の安全を確保する。あわせて町民の防犯意識高揚を図るため、住民団体と連携した取組などを積極的に推進する。	交通防犯啓発活動など(交通年4回、防犯年2回) 道交通安全協会負担金(毎年6月)		継続							150	241	150	241	150
			地域生活安全協会助成事業	総務課 住民グループ	地域生活安全協会が中心となって交通安全運動、防犯活動が行われ、高齢者世帯訪問や児童を不審者から守る活動等が実施されていることから、引き続き連携して取組んでいく。	前年度実績、当年度申請手続き 毎年5月		継続							168	168	168	168	168
			交通指導事業	総務課 住民グループ	町内で開催されるイベント時の交通安全、期別運動には児童生徒の登校時街頭指導、関係機関と連携して啓発(街頭指導、レッドライト作戦など)活動を実施する。 年間平均50事業、延べ約200人	街頭指導、啓発活動		継続							497	497	497	497	497

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)					
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27
第4章 子育て支援、教育の充実																
第1節 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり																
	第1項 子育て支援と幼児教育の充実	いきいきふるさと推進事業	総務課 政策経営室	本町の住民や転入者に対して、あたたかい歓迎の気持ちを込めて必要な情報の提供及び転入手続きにおける利用しやすい窓口の環境整備を図るとともに、子育てに対してお祝いの気持ちを込めて祝品の贈呈や支援をしていくことにより、中頓別町における住民の定住化とほんとうの豊かさを分かち合うあたたかいまちづくりを推進する。 ・出生祝い金 3万円(1人) ・子ども用紙オムツ 360枚、ゴミ袋 6包(1人) ・絵本プレゼント(1歳児、1.6歳児、3歳児) ・生活情報誌配布 ・結婚祝金 夫婦1組30万円	出生祝い金 年10件(見込) 紙オムツ、ゴミ袋 年10件(見込) 絵本プレゼント 年40人(見込) 生活情報誌 年40件(見込) 結婚祝金	継続						400	549	549	3,549	3,549
第2節 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進																
	第4項 地域間交流と国際交流	国際交流事業	総務課 政策経営室	中頓別町国際交流協会ではこれまで、サハリン州ノビコボ村との交流をはじめ、インターナショナルフェスティバルや地域国際化研修会の開催など、地域の国際交流推進に関する取り組みを進めてきたところであるが、ここ数年間、協会の活動が休止状態となっていることから、協会のあり方について検討を行うとともに、新たに、英語圏交流に向けた検討を進めていく。また、地域における自主的な研修活動の気運も高まっていることから、行政として必要な支援を行っていく。	国際交流協会のあり方検討会 英語圏交流のあり方検討会 講座の開催支援 H24: ネパール講座(年3回)	設置 年3回	設置 年1回	実施				0	0	0	0	0
		大崎上島町交流実行委員会助成事業	総務課 政策経営室	平成2年10月に本町の開拓の始祖である榎原民之助氏の出身地である広島県東野町と姉妹町の縁を結び、それぞれの町民をとおして親善、交流を深め、深い絆で結ばれることにより姉妹町の意義を高めようとする。 ※18年度より隔年実施。 ※20年度は大崎上島町町民交流実行委員会が設立し、訪問と受入れ事業が一体的に実施	実行委員会への助成	交流		交流		交流		877	0	877	0	877
第5章 町民主役の町政運営																
第1節 情報の共有化と町民参加によるまちづくりの推進																
	第2項 地域振興・活性化の推進	移住定住促進事業	総務課 政策経営室	交流居住人口の増加を図るため、移住体験事業によるきっかけづくりから、季節居住のための住宅情報の提供、滞在期間中の生活体験に係る条件(農地利用関係等)を整備する事業である。このため、実行委員会(ピンネシリ地区)を組織し、PR活動等を実施している。 ・北海道移住促進協議会負担金 ・「おためし暮らし体験」の宣伝など	北海道移住促進協議会負担金 「おためし暮らし体験」の宣伝など 専門員の配置 受入住宅整備 プロモーション業務委託	継続						385	385	385	385	385
		人口問題懇話会事業	総務課 政策経営室	過疎化が進み、地域経済が厳しい状況にある中で、持続的な地域づくりによる地域振興と活性化に向けて、町内各種団体の代表者とこの町の将来の姿について意見交換を行う。	懇話会開催 年4回	継続						0	0	0	0	0
		人口減少問題対策事業	総務課 政策経営室	人口急減・超高齢化といった我が国が直面する大きな課題に対し、国は長期ビジョンを示すとともに、それを実現するための具体的な施策となる総合戦略を策定したところであり、町としても急速に進む人口減少を食い止めるための様々な施策を強力に進めていく。	中頓別町総合戦略策定事業 人口減少に立ち向かう自治体連合への参加			参加	実施					10	1,215	10
		地域青年交流の場設定事業	総務課 政策経営室	人口減少に歯止めをかけ、「定住」促進につなげていくためには、長期的視点に立った担い手・後継者対策を推進することが必要である。現在、担い手・後継者対策は、それぞれの業種ごとに行っており、農工商連携をはじめとする異業種間の交流や町内の各界各層の若者が集い交流し合える場はありません。そのため、担い手・後継者対策として、町内外の各界各層の若者が、中頓別町の魅力を体験しながら枠を超えて交流し合える場を持続的に設定していく取り組みが必要である。	なかとんべつ青年交流実行委員会補助 出会いの広場in中頓別 アドバイザー依頼	最重要	設置					0	200	200	200	200
									開催						400	400

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)						
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
			総合開発委員会事業	総務課 政策経営室	住民主体による第7期中頓別総合計画による事務事業の推進管理と、行政評価の確立と策定に向けた基本的な考えをまとめ、総合的かつ特色あるまちづくりを推進する。平成27年度から後期実施計画策定作業を実施する。	本会議 専門部会 事務事業評価会議		年5回 年2回	年5回 年2回	年5回 年2回	年10回 年2回	年12回 年6回 年2回	1,048	862	862	1,376	1,332
			全国過疎地域自立促進連盟事業	総務課 政策経営室	全国過疎促進自立促進連盟は、市町村、関係道府県をもって組織され、相互の緊密な連絡提携により過疎地域対策の充実強化を図り、過疎地域における産業と経済の開発振興、地域住民の生活・文化の安定向上を図る。	負担金支出							51	51	51	51	51
			陳情・要望業務	総務課 政策経営室	国や北海道の機関などに対し、町政の運営や地域課題の解決のために必要な施策を実施してもらうことが必要な場合に陳情、要望活動を行う。	主な要望活動(商工会懇談、自民党、民主党要望) 各1回	継続	→					0	0	0	0	0
			国費予算要望事業	総務課 政策経営室	北海道開発に関連する予算について、本町で実施する関係事業について要望活動を実施する。	要望活動のみ	継続	→					0	0	0	0	0
			宗谷地域づくり連携会議事業	総務課 政策経営室	北海道開発局、北海道、市町村が連携し、地域課題・重点項目について意見交換を行う。	町長出席、随行 年1~2回	継続	→					0	0	0	0	0
			稚内建設管理部歌登出張所管内事業要望事業	総務課 政策経営室	北海道の事業のうち道路、河川整備に関する事業について町の要望を伝え、実現を図っていく。	社会資本整備に関する要望会議 年2回 8月~翌年(前年)度提出要望の進捗 1月~翌々年度要望	継続	→					0	0	0	0	0
			全国積雪寒冷地帯振興協議会事業	総務課 政策経営室	豪雪地帯対策特別措置法第2条第2項の規定により、特別豪雪地帯の指定を受けた市町村が緊密に連携し、豪雪によって生ずる諸問題解決のための対策を推進する。	要望書への意見	継続	→					0	0	0	0	0
			宗谷地域総合開発期成会事業	総務課 政策経営室	宗谷地域における総合開発に関する国及び道の施策に対して積極的に協力し、これを促進し、地域住民生活の安定向上、福祉増進に資することを目的に、次の事業を行う。 1. 総合開発のための意見開陳・建議及び陳情 2. 総合開発促進に関する必要事項の調査研究 3. その他総合開発に関し、必要な事項の要望	主管課長会議、町長総会出席、随行。	継続	→					0	0	0	0	0
			幌延深地層研究施設関連業務	総務課 政策経営室	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施している高レベル放射性廃棄物の深地層処分等について情報収集するとともに、NUMOが選定を進めている最終処分場に関する動きについても情報収集にあたる。	研究事業の成果確認のため、報告会へ出席する。 年2回	継続	→					0	0	0	0	0
			電源立地地域対策業務	総務課 政策経営室	電源三法に基づき発電所立地による開発利益を還元し円滑な電源開発を行うことを目的として住民や企業に対する給付金措置、又は市町村が行う各種公共施設の整備や地域活性化事業などに交付金が交付されており、平成19年度以降は町民が安心できる生活と、健康の維持を目的に中頓別町国保病院運営事業に充てている。	病院運営事業へ充当 5月申請、12月実績報告、事務検査	継続	→					10,501	10,501	10,501	10,501	10,501
			企画総務事業	総務課 政策経営室	個別事務事業の効率的執行の他に、所管事務を総合的に管理推進するため、臨時職員の確保による補完的な事務処理を指示し、効率的な事務処理を進める。	臨時職員 企画事務打合せ 地域活性化業務担当員の配置	継続	→				実施 →	2,394	2,394	2,394	4,345	4,345
			東日本大震災子ども支援事業	総務課 総務グループ	東日本大震災及び福島原子力発電所の事故に伴う原子力被害により被災された子どもたちに、のびのびとあたり前の夏休みを過ごしてもらうため、中頓別町の豊かな自然環境の中で様々な体験活動や地元小中学生との交流を行う。	実行委員会への助成	受入	→					492	780			
		第3項 町民活動の活性化	自治会連合会事務局業務	総務課 住民グループ	本町におけるコミュニティ活動の中核である自治会連合会の活動を活性化し、住民が快適で安全・安心に暮らすことができる地域づくりを行っていく。	総会、役員会 年4回 諸事務(各自治会への補助支出、会費徴収など)	継続	→					0	0	0	0	0
			町内対抗スポーツ大会補助事業	総務課 住民グループ	平成21年度に実施されたレクリエーション・スポーツ大会で大盛況となった高評価を踏まえ、自治会連合会が主体となって実行委員会を設立し、町民の誰もが健康で楽しく交流することを目的に継続開催されている。	実行委員会への助成 審査、指導	継続	→					475	475	475	475	475
			地域生活安全協会事務局業務	総務課 住民グループ	町民等で構成する地域生活安全協会の活動を支援するため事務局業務を担い、交通安全、防犯などの活動を行っていく。	総会、役員会 年3回 巡回活動 年数回 諸事務(自治会への会費徴収など)	継続	→					0	0	0	0	0

第7期中頓別町総合計画 前期実施計画掲載事業一覧(2012~2016)

(単位:千円)

政策の柱	政策目標	施策目標	事務事業名	担当部署	目的・概要	活動指標					概算事業費(見込)									
						実施内容	最重要等	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28			
			青少年育成・男女平等参画業務	総務課 総務グループ	次代を担う児童及び青少年の健全な育成及び、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる分野における活動に参画する機会となる情報提供などPR活動を行う。	広報による啓発活動 年6回		継続	→						0	0	0	0	0	
			地域づくり活動支援補助事業	総務課 政策経営室	域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付することにより、地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的とする。	補助対象団体・個人 ・起業化支援、特産品開発など (・マンパワーの交流)	1団体	2団体	→						1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			自治会連合会運営補助事業	総務課 住民グループ	自治会連合会は、自治会の育成指導、相互の連絡調整を図ると共に住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与する。各単会の運営費として補助(1世帯あたり1,600円) また、自治会が主体となって地域づくりを推進するための宝くじを財源としたコミュニティ助成事業申請に係る事務手続きの支援を行う。	補助金支出		継続	→						1,325	1,322	1,322	1,322	1,322	
			自治会連合会冬季コミュニティ活動備品整備事業	総務課 住民グループ	冬期間の運動不足を解消するため、冬季コミュニティ活動備品の整備を行い、自治会活動のさらなる強化と自治会同士の相互交流や連携を深める。	歩くスキー 20組													1,306	
			集落支援事業	総務課 住民グループ	少子高齢化社会により、自治会(単会)の集落機能の低下と、日常生活に不便が多岐に見られる。その改善を図るため、日常生活を支える人材を地域に定住させ、市街地への買い物、除雪、地域行事など、集落の見守り活動、集落の賑わいを創出することを進める。	支援員、補助員の配置 ・身の回りの生活支援 ・自治会行事の運営支援 ・除雪機の購入	検討		運用	→				0	0	3,759	3,003	3,003		
			まちづくり団体支援事業	総務課 政策経営室	地域の振興や発展に向けたまちづくり活動を行う団体等に対して、必要な支援を行っていく。	中頓別町まちおこしイベント協会負担金												30	30	30
第2節 創造的な自治体改革の推進																				
		第1項 行政改革の推進と行政経営の確立	業務マネジメントシステム運用事業	総務課 政策経営室	総合計画策定のあり方と行政評価の確立と策定に向けた基本的な考えをまとめ、原則総合計画に基づかなければ事業に着手できない型づくりを構築し、業務マネジメントにより運用する。	システムの運用と改善		継続							693	693	693	693	693	
		第3項 広域連携の推進	定住自立圏関係業務	総務課 政策経営室	中心市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「稚内市」「名寄市及び士別市」との相互に役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的とする。	宗谷圏会議 年2回 北・北海道中央圏会議 年2回 名寄市立病院 第2次救急医療事業負担金 知駒中継局整備事業負担金(テレビ北海道エリア拡大)	継続	→						752	752	1,060	50	50		
その他		施策体系に属さない事務事業	土地利用等規制対策事業	総務課 政策経営室	国土利用計画法等による規制、誘導を行い、適切な土地利用と利用促進を図るための経費が交付される。	事務消耗品、郵便料		継続	→						52	50	48	46	44	
			北方領土復帰期成同盟事業	総務課 総務グループ	我が国の固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願である。このような状況から今後もあきらめずに返還要求運動を続けていき、国の外交交渉の後押しとなる運動を推進していく必要がある。	年会費負担 署名・啓発活動(8月、2月) 年2回		継続	→					10	10	10	10	10		